



とっぱずれ



銚子東ロータリークラブ Weekly Bulletin NO. 2252



大吠灯台

第2252回 例会 平成30年9月18日

点 鐘 … 大内 一恭 会長

ロータリーソング … 我等の生業

来訪ロータリアン紹介

… 親睦活動・家族委員会

会長挨拶 … 大内 一恭 会長

御祝披露 … 大内 一恭 会長

誕生祝 … 仲村 真一 会員(9月12日)

結婚記念日 … なし

入会記念日 … なし

幹事報告 … 森 はるみ 幹事

ニコニコBOX … 親睦活動・家族委員会

卓話

「私の趣味」

銚子ロータリークラブ 会長 金島 弘 氏

第3回定例理事会 (例会終了後)

出席報告 … 出席・プログラム委員会

来週のプログラム (平成30年9月25日)

移動例会「観月会」

大吠埼ホテル

受付 18:00 点鐘 18:30



BE THE INSPIRATION

インスピレーションになるう

2018-2019年度 RI会長 バリー・ラシン



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるかどうか

第 2251 回例会(平成 30 年 9 月 11 日)

会長挨拶

大内 一恭

本日は、千葉科学大学危機管理学部 危機管理システム学科 教授 藤本一雄様をお迎えしての郷土の偉人「濱口梧陵」氏の卓話であります。

ご存知の通り、濱口梧陵は安政南海地震が広村を襲った際に、自身の田んぼのわらに火をつけ安全な高台にある広八幡神社へ誘導し村民の多くを助けた“稲むらの火”のモデルであります。

6 日未明、北海道で発生した震度 7 の地震、厚真町での土砂崩れの映像を見て、改めて地震の怖さを感じました。また、北海道全域 295 万戸が停電し、100 万ドルの夜景といわれる函館が真っ暗闇になるなど、道民の方には不安な一夜を過ごされた事と思います。

藤本先生からは本当にタイムリーな貴重なお話がお伺い出来る事と思います。どうぞ宜しくお願い致します。

幹事報告

- 1・ガバナー事務所より
 - ・ポール・ハリス・ソサエティー入会のご案内
 - ・「米山梅吉その生涯」DVDの送付 受領
- 2・銚子市交通安全都市推進協議会より
平成 30 年秋の交通安全運動の実施について (依頼) 受領
- 3・犬吠埼ブランドン会より
「犬吠埼灯台乙女要請講座」開講記念講演会のご案内 受領
- 4・例会変更のお知らせ
佐原 RC より
9/13(木) 点鐘 18:30 「麻生屋」観月夜間例会の為
9/27(木) 定款第 8 条第 1 節(c)による取消 受領

卓話

「濱口梧陵」

千葉科学大学 危機管理学部
危機管理システム学科 教授 入試広報室 室長
藤本 一雄 氏

濱口梧陵は、1820 年、紀州の広村（現在の和歌山県広川町）で生まれました。濱口家は、1645 年から江戸と銚子で



醤油醸造業を営み、現在も銚子に本社がある「ヤマサ醤油」として経営を続けています。梧陵は、実業家として偉大なだけでなく、防災・防疫・防衛の面でも優れた功績をあげた人物です。

《防疫について》

梧陵が広村に戻っていた 1854 年 12 月、安政東海地震が発生し、大きな揺れが広村を襲いました。梧陵と村人たちは、津波を警戒して広八幡神社に避難して、一夜を明かしました。翌日、安政南海地震の大きな揺れが広村を再び襲いました。梧陵は、津波の襲来を予見して、村の人々に逃げるように伝えていたところ、津波に襲われて半身を波にさらわれながら、かろうじて広八幡神社まで退きました。日が暮れて暗くなると、梧陵は、崇義団（後述）の青年達とともに、逃げ遅れた人々の捜索に出かけました。逃げる人たちの目印にと稲むらに火をつけて、人々を高台へと導きました。この話は、津波防災の分野では「稲むらの火」としてとても有名です。

梧陵は、津波から避難した後、炊き出しや被災者用の小屋の建設、農耕具・漁具の配給などの救済事業に取り組むとともに、津波を防ぐための堤防建設に取り組むことを決意しました。堤防の建設は 1855 年から開始されました。その建設費用は、梧陵がすべて負担すると紀州藩に申し出ていましたが、1855 年の安政江戸地震により江戸の店舗が大損害を蒙ったため、建設資金の調達が困難となりました。しかし、広村の出身者が多い銚子の店では、過去最高の生産高を達成して、合計で約 2,000 両を広村に送金しました。その結果、1858 年に広村堤防は完成しました。この堤防は、その後、1944 年の昭和東南海地震や 1946 年の昭和南海地震の津波に対して効果を発揮しました。

《防疫について》

江戸時代は、天然痘やコレラなどの感染症が流行していました。わが国での天然痘の流行は、江戸時代までは、数十年の間隔で大流行がおこったが、江戸時代になると、毎年のように流行するようになっていた。長崎で蘭方医学を学んだ三宅良斎は、梧陵の勧めで 1841 年に銚子で

開業しました。その後、1844年、良齋は佐倉藩医となって銚子を去ったものの、梧陵との親交は続きました。1858年、天然痘の予防・治療を目的として、江戸在住の蘭方医83名が資金(計約580両)を出し合って「お玉ヶ池種痘所」を開設しました。しかし、同年11月、付近で発生した火災により種痘所は全焼した。三宅良齋から種痘所再建の窮状を相談された梧陵は、300両を寄付しました。そのお蔭で1859年に種痘所は再建され、その後、「西洋医学所」「医学校」「東京医学校」などと改称をして、現在の「東京大学医学部」に至っています。

1858年、コレラが全国的に流行し、江戸だけで2万人の死者が出ました。このとき江戸にいた梧陵は、銚子の関寛齋に手紙を送りました。関寛齋は、1856年から銚子で開業していた蘭方医で、梧陵に認められ、三宅良齋以上に親身の援助を受けていました。その手紙の内容は、江戸で大流行しているコレラは、近いうち銚子にも広がると考えられるので、コレラの予防法・治療法を学ぶため、関寛齋に江戸に来るようにというものでした。江戸に来た関寛齋は、梧陵から紹介された蘭方医の林洞海と三宅良齋から治療法・予防法を学び、薬品・書籍を購入して銚子に戻りました。そのとき銚子でもコレラが流行りつつありましたが、関寛齋の防疫治療により被害を最小限に食い止めることができました。

《防衛について》

江戸時代のわが国は、鎖国政策によって平和な時代を過ごしていました。しかし、18世紀末から日本の近海に異国船が頻繁に現れるようになり、欧米列強による植民地化に対する危機意識が次第に高まっていました。梧陵は、1851年、異国船から広村を守るため、村内の成年男子を集めて「広村崇義団」を結成しました。この当時の梧陵は、やや攘夷的な思想でした。その後、佐久間象山や勝海舟らとの交友を通じて、攘夷論から開国論へと変わりました。開国するためには教育による人材育成を先決すべきとの考えから、1852年、村内の青年たちへの教育事業として「広村稽古場」を開所しました。また、1853年に黒船が来航したときには、鎖国政策の中、海外渡航を熱望したものの断念しました。1859年、勝海舟に咸臨丸への同乗を誘われましたが断念しています。1866年、広村稽古場は耐久社へと改称され、これが現在の和歌山県立耐久高等学校、広川町立耐久中学校に至っています。また、1869年、紀州藩の大広間席学習館知事になりました。

以上で述べた通り、濱口梧陵は、防災面での「安政南海地震の津波からの避難誘導」と「広村堤防の建設」だけでなく、防疫面では「銚子でのコレラ防疫」と「お玉

ヶ池種痘所の再建への寄付」、防衛面では「広村崇義団の結成」と「広村稽古場の設立などを通じた教育事業」に取り組んでおり、これらの面でも先駆的かつ卓越した功績をあげていたことを確認できた。これらを踏まえて、濱口梧陵の防災・防疫・防衛面での功績が、1)低頻度・巨大損失事象の体験・教訓の伝承、2)リスクマネジメントとクライシスマネジメント、3)自助・共助・公助の点において危機管理教育における有効な教材となりうることを述べた。

基本的教育と識字率向上月間(9月)

読み書きのできない15歳以上の人の数は、世界に約7億7500万人。これは、全世界の成人の17%にあたります。

しかも、学校に通っていない子どもは世界に6700万人いると言われていています。地域社会が自力で学校を支え、教育における性差別を減らし、成人の識字率を高められるよう支援することが、私たちの目標です。

(R I・HPより)

四つのテスト

職業倫理について世界で最も広く印刷され、引用されている文章の一つに、ロータリーの「四つのテスト」があります。これは、1932年にロータリアンのハーバード・テイラーが、当時破産の危機に直面していたシカゴのクラブ・アルミニウム社の経営を引き受けるよう要請された時に創案したものです。経営難のこの会社を救う方法を模索していたテイラーは、従業員全員が仕事において守るべき24単語の倫理規定をつくりました。この「四つのテスト」が販売、生産、宣伝、業者・顧客関係における指針となり、この会社は倒産の難を逃れましたが、それはこのシンプルな哲学に負うものでした。

ハーバード・テイラーは1954-55年度の国際ロータリー会長となりましたが、この四つのテストが1943年にロータリーに採用され、その後、100カ国語以上に翻訳され、何千もの形で発行されてきました。このメッセージはすべてのロータリアンが知り、守るべきものです。

「言行はこれに照らしてから」

1. 真実かどうか、
2. みんなに公平か、
3. 好意と友情を深めるか、
4. みんなのためになるかどうか。

(ロータリーのいろはより)

秋の交通安全運動のお知らせ



出発式・交通安全キャンペーン

日時：9月20日(木)16:00~17:00 集合 15:50

場所：市役所市民プラザ

交通安全フェア

日時：9月22日(土)11:00~15:00

場所：イオン銚子ショッピングセンター

薄暮時街頭監視

日時：9月27日(木)16:00~17:00

場所：馬場町交差点他

※交通安全運動参加にご協力お願い致します。

ごちそうさま



2012-13 年度米山奨学生の劉維琴さん(埼玉県在住)より豊水梨を頂戴頂きました。

会員一同例会にて美味しく頂きました。ありがとうございました。

地区大会(第2日目)のご案内

日時：平成30年10月28日(日)9:30~15:30

場所：ホテルニューオータニ幕張

8:30 受付 9:30 点鐘

10:45 特別講演 阿部志郎氏

11:15 記念講演 村田吉弘氏

16:00 スーパー懇親会



※送迎バス

銚子市体育館 6:30 出発

銚子駅丸通駐車場前 6:40 出発

前回の例会(9/5)報告

点 鐘 大内 一恭 会長

出席報告

会員総数 32 名 出席規定除外数 4 名

出席者 19 名 出席率 65.52 %

8月28日 確定出席率 86.21 %

来訪ロータリアン なし

欠席者 10名

メイクアップ

石井君 (9/9ガバナー補佐顔合わせ会)

スモールコインBOX 小計 ¥ 1,310-

累計 ¥ 13,155-

ニコニコBOX 小計 ¥ 3,000-

累計 ¥ 45,000-

お 願 い

欠席される方は、遅くとも前日までに事務局へご連絡下さい。また、近隣のクラブへのメイクアップを是非お願い致します。(メイクアップされるクラブへ事前連絡をして下さい。)

銚子東ロータリークラブ

銚子市三軒町19番地の4 銚子商工会館4階 TEL0479(23)0750 FAX0479(25)8789

メール c-higashirc@tcs-net.ne.jp URL http://www.tcs-net.ne.jp/~rc

例会日時及会場 毎週火曜日 12時30分点鐘 銚子商工会館5階大会議室

会長 大内一恭 副会長 宮内勝利 幹事 森 はるみ

クラブ広報・会報委員会 堀 猛・杉浦 武・平幡照正・山本嘉一郎

表紙題字 網中喜一郎初代会長

R. I 第2790地区

ほととぎす 銚子は国の とつぱずれ

古 帳 庵

江戸小網町の豪商鈴木金兵衛夫婦(古帳庵 古帳女)が銚子に遊んだときに

詠んだもので、この碑は圓福(円福)寺に現存する。